

平成25年度

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

公益財団法人四万十川財団
事業計画及び収支予算書

目 次

1 事業計画書	1
2 収支予算書	3
3 資金調達及び設備投資の見込みについて	5

平成25年度事業計画書

I 基本方針

- 1 四万十川の清流保全のため、ボランティアグループとの連携による間伐推進や森林ボランティアの養成、支援などに取り組みます。
- 2 国に文化財として選定された「四万十川流域の文化的景観」を地域の貴重な資源として保全・活用し、地域づくりに活かす取組をします。
- 3 四万十川の上流域から下流域まで、環境保全やグリーンツーリズムなどの取組を行っている人や地域資源を発掘し、全国への情報発信に取り組みます。
- 4 四万十川における流域内交流や流域外との交流増に取り組みます。
- 5 地域資源を活用した「四万十ブランド認証制度」の周知と円滑な運用に努め、財団ホームページなどで認証品のPRや紹介等に取り組みます。
- 6 四万十川の清流保全のため、地域のマンパワーの活用や流域5市町が一体となった新たな取組について検討します。

II 事業内容

(公1) 清流四万十川の環境保全に寄与する事業

(1) 四万十川の日事業

四万十川の日（7月25日）の制定趣旨に沿うため、四万十川の保全への理解が深まるよう、小学生等の参加による清流度や水生生物の生息調査等を実施します。

(2) 四万十川一斉清掃支援事業

流域5市町が連携して取り組むための調整及び積極的な広報を実施します。

平成25年4月7日（実施予定）

(3) 森林ボランティア活動促進事業

高知大学や森林ボランティアグループとの連携、協力により、森林保全のための森林ボランティア養成講座（四万十樵養成塾）を開催します。

森林ボランティアグループの活動支援を行います。

(4) 清流の森づくり事業

清流保全に必要な下刈や除間伐等に取り組みます。また、日本一ともいわれる四万十川流域の生物多様性を守るための取組を進めます。

(5) 清流通信作成事業

四万十川のタイムリーかつホットな情報を、ホームページにより発信するとともに首都圏を中心とする通信社や旅行代理店などに提供します。

また、ホームページの外国語表記やアクセス増加対策を検討します。

(公2) 四万十川流域の振興を図るための事業

(1) 文化的景観づくり推進事業

四万十川流域の「重要文化的景観」を保全、活用し、地域づくりに活かす取組をします。

そのため、「四万十川流域文化的景観連絡協議会」を通じて流域市町の連携を図るとともに、ホームページでの発信やDVD、写真を活用した宣伝に取り組みます。

(2) 流域活性化支援事業

四万十川流域でグリーンツーリズムの取組をしている施設で組織する「四万十川すみずみツーリズム連絡会」を支援します。

(3) 四万十リバーマスター育成事業

流域に訪れる方々に対して、川の危険情報や見どころ情報を提供するとともに四万十川でのマナーアップの指導等の活動を行うための四万十リバーマスターの委嘱や、そのレベルアップのための講習会や研修会、意見交換会を行います。

(収1) 四万十ブランド認証事業

財団ホームページ等で「四万十ブランド認証制度」の周知及び認証品の紹介、PRを行います。

また、認証者同士の情報交換会を開催するとともに認証者の要望や意見を踏まえた販売支援やPRに取り組みます。

(その他) 会員制度の実施

ホームページ等の活用により、四万十川財団会員の募集をします。

平成25年度 収 支 予 算 書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位:千円)

勘 定 科 目	予 算 額	備 考
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 基本財産運用益	10	
基本財産受取利息	10	
② 特定資産運用益	100	
特定資産受取利息	100	
③ 事業収益	50	
ブランド事業収益	50	
④ 受取補助金等	16,395	
高知県補助金	8,978	
保全機構補助金	7,417	
⑤ 受取寄付金	1,000	
受取寄付金	800	
会員寄付金	200	
⑥ 雑収益	3	
受取利息	1	
雑収益	2	
経常収益計	17,558	
(2) 経常費用		
① 事業費	13,997	
給料手当	9,792	
臨時雇賃金	146	
福利厚生費	1	
旅費交通費	1,119	
通信運搬費	170	
消耗品費	414	
修繕費	30	
印刷製本費	1,160	
燃料費	40	
賃借料	210	
保険料	110	
諸謝金	399	
支払負担金	310	
新聞図書費	36	
手数料	60	

勘定科目	予算額	備考
② 管理費	3,594	
給与手当	874	
臨時雇賃金	0	
福利厚生費	30	
旅費交通費	320	
通信運搬費	445	
消耗品費	232	
修繕費	70	
印刷製本費	650	
燃料費	84	
賃借料	96	
保険料	60	
租税公課	71	
新聞図書費	100	
手数料	60	
商品購入費	100	
共益費	280	
諸会費	122	
経常費用計	17,591	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 33	
特定資産評価損益等	△ 11	
特定資産評価損益等	△ 11	
評価損益等計	△ 11	
当期経常増減額	△ 44	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
(2) 経常外費用	0	
当期経常外増減額	0	
当期一般正味財産増減額	△ 44	
一般正味財産期首残高	52,915	
一般正味財産期末残高	52,871	
II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減の部	0	
指定正味財産期首残高	10,000	
指定正味財産期末残高	10,000	
III 正味財産期末残高	62,871	

※正味財産増減計算書適用初年度のため、前年度予算の記載事項はありません。

事業	自	25年 4月 1日	法人コード	A011572
年度	至	26年 3月 31日	法人名	公益財団法人四万十川財団

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入の予定の有無を記載し、借入がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業 番号	借入先	金額	用途		

(2) 設備投資見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途		
公1及び 法人会計	パソコン	450,000	自己資金		